

# News Letter

自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

令和5年9月

みなさんの地域では、秋の気配は感じられるようになりましたか？  
9月、さっそく Newsletter 第66回配信です！ どうぞお楽しみください。

## 【診療科紹介 乳腺科】

みなさんこんにちは。今回は乳腺科の紹介をさせていただきます。

当科は消化器一般移植外科学講座の一部門となります。対象臓器は乳腺で乳腺炎や良性腫瘍も診療していますが、メインの診療内容は乳癌の診断・手術・薬物療法となります。

当科の魅力は、乳癌の診断に必要な検査から外科手術、薬物療法（術後補助療法/再発治療）、緩和医療、すべてを同一科で行っているところです。

特に薬物療法は近年めまぐるしい進歩をむかえ年々複雑化してきていますが、全国の臨床試験グループなどに所属し、新しい情報をいち早く得られるように努力しています。

治療方針は、すべて科内のカンファレンスで協議し決定しています。転移再発乳癌での様々な症状への対応や薬物療法中の合併症への対応など、連携できる多くの専門外来がある大学病院だからこそ経験できることがあります。多くの患者さんから得られる経験より実践的な診断能力、臨床能力を育てる環境です。

乳癌の手術では昔ながらの一般的な外科基本手技（結紮、縫合、場の展開など）が重要です。最近では鏡視下手術やロボット手術の発展にともない、昔ながらの外科手技を経験できる機会はむしろ減ってきている印象があります。当科で多くの手術を経験することは外科的基本手技の向上につながるだろうと考えています。

外科的なことも興味があるけれど、内科的なことも捨てがたい、がんの薬物療法に興味があるといった方にはお勧めの科です。

最後になりましたが、乳癌罹患者数は多く、女性のがんでは部位別罹患者数1位が続いています。患者数が多くまた比較的予後のよい癌腫であることから、乳癌になった、もしくは乳癌を経験した患者さんに出会う機会は必ずあると思います。

乳癌診療にご興味のある方は是非ご連絡ください。メールなどでの質問にもお返事させていただきます。



連絡先 乳腺科

櫻木 masako@omiya.jichi.ac.jp

原尾 miharao@jichi.ac.jp

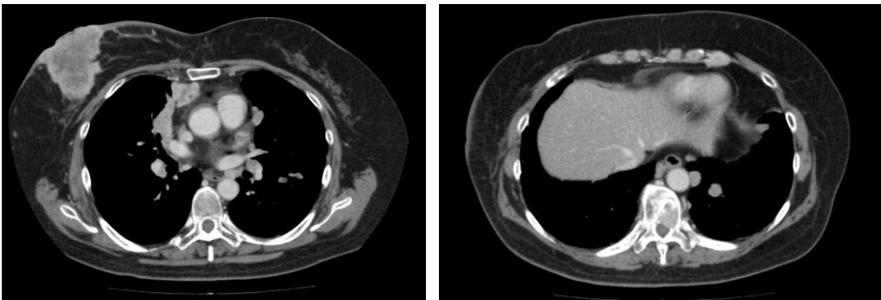
## 【医師国家試験予想問題】

① 両側乳房の疼痛を主訴とする乳腺疾患で最も頻度が高いのはどれか。

- a 乳癌
- b 乳腺症
- c 線維腺腫
- d 葉状腫瘍
- e 乳管内乳頭腫

過去問にあった内容です。乳房痛で乳癌が心配となる方が多いのですが、乳癌ではほとんどの場合は痛みを伴いません。正解はbです。

② 65歳女性。2年前より右乳房のしこりを自覚していたが家族の介護のため放置していた。受診2か月前より腰痛が出現していたが特に受診はなかった。受診1日前より下肢のちからがはいりなくなり、受診当日朝からたてなくなったため総合病院の内科を受診した。来院時に施行したCT画像を示す。次にすべき検査を下記より一つ以上選べ。



- a マンモグラフィー
- b 乳房超音波
- c 針生検
- d 脊椎MRI
- e 乳房MRI

実際に経験することのある病状です。CTで右乳房内腫瘍性病変があることおよび胸椎の溶骨性変化を認めます。骨転移に伴う脊髄圧迫症状です。答えはb c dです。脊髄圧迫症状の解除が必要で緊急手術の適応となります。無理な姿勢はとれず立位が必要なマンモグラフィーや腹臥位が必要な乳房MRIは不要です。